

新宮山彦ぐるーぷ第2306回

行仙宿の巡回整備

◇実施日 7月21日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、畑林秀味・清子、梶野照雄、志岐敬 7名

児嶋さんがモノレール終点の荷物置き場にモルタル施工をするので一緒にどうか？と連絡があつたので、志岐さんを誘って行仙宿に向かった。午前9時前に登山口に着く。湯川君の車が停まっていた歩いて登つたようだ。暫くして沖崎車が到着、荷物をモノレールの荷台に積んで登りだす。



荷物を積み込む



小石を敷く



モルタル施工中

ポリタンクの水が4個、マキ材が2束、セメントや練箱などが主なものだ。モノレールのレールオイル用に、と児嶋さんが精製した廃油を持ってきてくれた。これからはレールオイルを購入しなくて済みそうだ。終点に着き、荷物を全部降ろしてからスコップと土嚢袋を積んで伐採跡地まで小石を取りに降りた。歩いて登ってきた畑林

清さんが手伝ってくれた。12袋を積んで再び終点へ。土交じりの小石は先日広げた補給路に撒き、小石だけの袋は児嶋さんのモルタル材に使ってもらった。児嶋、沖崎、畑林秀の3人が主体で物置のグレーチングの端をモルタルで固めていく。湯川君が降りてきて志岐さんと3人で補助する。午前11時過ぎにモルタル施工は完了し、小屋に向かった。



児嶋さん差し入れのスイカ



ストーブの煙突掃除



昼食後は児嶋農園のスイカをごちそうになり、小屋の掃除とストーブの煙突掃除。ストーブの足を外して下に下げ、煙突を外す作戦だが、足を取り付けてあるボルトが簡単には外れずに少々苦勞していた。煙突にたまった煤は少なく、煤取りは簡単に終わった。床を掃除機で掃除し、トイレトペーパーを焼却炉で燃やした。
午後1時前に下山、モノレール終点で発電機を動かし電動ハンマーで岩を割ってみた。30分ほどで飛び出して30cmほどを削ることができた。人力で割るよりは楽だが、時間がそれなりに掛かるので、一ヶ所が半日くらいと考えなければならぬ。(記：梶野)



本日の参加者



岩を割る



下山

行動タイム

09:00 補給路登山口 09:45 モノレール終点 11:15 → 11:27 行仙宿 12:55 → 13:03 モノレール終点 13:58 → 14:15 補給路登山口